

令和5年度 社会福祉法人 広寿会  
事業報告(案)

当法人の理念である個人の尊厳と自立支援に基づき、法令の遵守に努め、地域福祉、介護保険の拠点としての役割を果たせるよう福祉サービスの質の向上をめざして職員教育を行ってきた。そして、職員一人ひとりがやりがいを持って職務に従事できるよう全員参加で委員会を遂行し、職員一人ひとりが責任を持って職務に臨めるよう図っていった。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の位置付けの変更が行われたが、高齢者の福祉施設であることを鑑み、引き続き必要な感染対策は続けている。また、介護人材不足の中で更なる介護サービスの質の向上を図るため、処遇改善や働きやすい職場環境づくりを推進している。

1. 概況報告

① 利用者の状況

事業名	区分	定員 (名)	現員 (名)	月平均延利用人員 (名)	入退所人員		職員数 (名)
					入所	退所	
特別養護老人ホーム 足原のぞみ苑		80	80	2,394	14	14	65 (18)
足原のぞみ苑 ショートステイ		20	平均 12.6	495	—	—	上記に 含む
足原のぞみ苑 ユニット		20	20	592	11	11	14 (1)
足原のぞみ苑 デイサービスセンター		40	平均 28.0	729	—	—	15 (4)
ケアプランセンター 足原のぞみ苑		115	102	103.8	—	—	3

( ): 非常勤 再掲

令和6年3月31日現在

② 理事会・評議員会等の状況

年 月 日	事 業 内 容
5. 5. 15	特養、ユニット入所判定委員会
5. 5. 25	監事監査
5. 6. 2	第1回理事会 報告事項 1. 理事長専決事項について 2. 令和4年度老人福祉施設一般指導監査結果について 議事 1. 土地の購入について 2. 社会福祉法人広寿会育児休業及び介護休業等に関する規程の一部改正について 3. 令和4年度事業報告（案）の承認について 4. 令和4年度資金収支決算報告（案）の承認について 5. 人事案件について 6. 評議員選任・解任委員会の招集について 7. 評議員選任・解任委員の選任について 8. 定例評議員会の招集について 9. 令和5年度第2回理事会の開催について
5. 6. 24	定例評議員会 報告事項 1. 令和4年度老人福祉施設一般指導監査結果について 2. 令和4年度事業報告について 3. 評議員選任・解任委員会の結果について 4. 人事案件について 議事 1. 社会福祉法人広寿会役員等報酬規程の改正について 2. 令和4年度決算報告（案）について 3. 理事の選任（案）について 4. 監事の選任（案）について

5. 6. 24	第2回理事会 議事 1. 理事長の選任について
5. 11. 9	第3回理事会 報告事項 1. 理事長専決事項について 2. 令和5年度事業の進捗状況について 3. 令和5年度資金収支中間報告について
5. 11. 24	特養。ユニット入所判定委員会
6. 3. 14	第4回理事会 報告事項 1. 理事長専決事項について 議事 1. 令和5年度第1次資金収支補正予算（案）について 2. 令和6年度事業計画（案）について 3. 令和6年度資金収支予算（案）について

## 2. 取組みについて

### ① 地域活動

社会福祉法人の責務である地域における公益的な取り組みとして、地域との合同行事である盆踊り大会はまだ開催できなかったが、年末の餅つき大会は規模を縮小して行い、無事に終了することができた。また、市民センターや民生委員、福祉協力員との連携を図り、徐々に生活安全パトロールやまち美化活動、夏祭りなど市民センターの活動にも参加できるようになった。次年度は更に地域活動を広げていく。

台風接近時や豪雨などで避難が必要となったときには、福祉避難所を開設し、自然災害時の指定避難所に行けない人、避難所での生活が困難な人の受け入れの準備を行った。

足原校区の避難訓練では当苑を一時避難所と位置付け、本来の避難所まで集団で避難した。

足原健康フェスティバルでは介護相談コーナーを設け介護に関する相談を受けた。また、誤嚥した時の対応方法を体験してもらった。

活動内容については以下のとおり。

## 地域活動

年 月 日	事 業 内 容
5. 8～9月	福祉避難所開設(随時)
5. 10. 14	足原校区避難訓練参加
5. 10. 15	足原健康フェスティバル「介護相談コーナー」設置
5. 11. 5	足原校区文化祭参加
5. 12. 24	足原のぞみ苑餅つき大会開催
6. 1. 13	どんど焼き会場設営の手伝い
※ 毎月参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活安全パトロール 足原校区、寿山校区</li> <li>・まち美化活動（月1回）</li> <li>・足原カフェ（月1回）</li> <li>・あしはら元気クラブ（月1回）</li> </ul>

## ② 職員教育の充実

### ア 施設外の研修（随時）

施設外研修は職種、経験を考慮して参加

施設内の研修（月1回）

### イ 喀痰吸引等研修

喀痰吸引、胃瘻等の医療的ケアが実施できる人材を確保するため研修を行い、施設介護職員の全員が医療的ケアが可能な体制とする。

### ウ 介護ロボット導入

職員不足の中、利用者と職員の負担を軽減し、効率の良い働き方の実現のため、有効と思われる「インカム」「見守りセンサー」「記録システム」等の活用を進め、無駄な動きをなくし効率の良い働き方が出来るようにした。

### エ ノーリフティングケア

「福岡県ノーリフティングケア普及促進事業」の実証実験施設としてノーリフティングケアの取り組みを継続し、利用者、職員共に負担の少ない介護技術を習得していった。また、ユニットに入浴用リフトを新たに設置し、利用者、職員の更なる負担軽減を図った。

### ③ 持続可能な人事制度の構築

#### ア 職員のキャリアアップ

アセッサーの資格を持つ職員が年2回の面談を行い、職員のキャリアアップを推進・支援するために知識と実践的スキルを評価し、客観的に自分の能力を理解してレベルアップを目指せるようにしている。

#### イ 資格取得の支援

##### I 資格取得のための助成金制度

職員のレベルアップのため、資格取得の支援のため、研修費用の一部負担を行っている。

##### II 介護福祉士養成施設の開設

法人内で講習を受けられるという介護福祉士の資格を取得しやすい環境を作り、資格取得者を増やしていく。また、求人に際しては意欲的な職員確保のための有効な条件となる。

#### ウ 育児休業、介護休業取得推進

令和3年の育児・介護休業法の改正を受け、女性だけでなく男性の育児休業取得も推進して仕事と家庭の両立を図り、離職を防いでいる。令和5年度は女性職員が3名、男性職員が2名取得した。現在は女性職員3名が育児休業継続中である。

### 3. 今後の課題

#### ア 感染症や災害への対応力強化

業務を継続させるためにBCP計画書に基づき取り組んでいく。

#### イ 外国人特定技能実習生の受け入れ

職員不足の緩和と海外への技能・技術の移転を図ることを目的として、外国人特定技能実習生の受け入れを今後も進めていく。

#### ウ 地域貢献活動

感染症の予防策を図りながら実行可能な地域貢献活動を探っていく。

#### エ 先進的な介護

介護ロボットの導入やノーリフティングケアのための環境設備には高額な費用がかかるので、補助金も活用しながら計画的に進めていく。